

歩 ~あゆみ~

共生と創造 ~ あじさい看護福祉専門学校の教育理念 ~

あじさいは、性質の異なったひとつひとつの花が集まって一輪の花となる。

人もまた人として生まれ、人間となるために、社会、文化の影響を受けて自らも構成員として環境を創造していく。これはあたかもあじさいが、陽光や水を受けて、土壌(環境)の変容を受け止め、その色や形が自在に変化していく様にも似ている。花は水の青になじみ、誰にも好かれ、和をもって一輪の花となる。看護・介護もまた、人と人との出会いではじまり、共に生き、創造していくものである。

学生はあじさいの如く、人との交流を通して変容し、自己の内にエネルギーを育んでいく。

そして、将来個人との相互交流を豊かにし、個人に応じた看護・介護が創造できるエネルギーを持ち続けることが重要である。

ここに共生と創造を謳う。

なお、あじさいは美濃加茂市の花である。



スポーツ大会

Contents

- ▼ スポーツ大会開催
- ▼ TOPICS
看護:在宅生活支援実習 南陽寺
介護:第三段階実習
「1日3食プロジェクト」
- ▼ ギョーカイなう ACLS
- ▼ エコキャップ活動
- ▼ 震災ボランティア
- ▼ ころろ@あじさい
- ▼ 看護・介護に役立つ頭の体操
- ▼ 在校生からのメッセージ
- ▼ 入学試験のご案内

今年もプラザちゅうたいでスポーツ大会を行いました。その目的は、体力向上と競技を通して看護学科介護福祉学科の総勢182名が普段体験することのできない他学年と協力しあい夢中になることで人との繋がりを大切に思っ欲しいというものである。その背景には、看護、介護において他職種との連携、すなわちチームケアが重要であるためです。競技内容は、ボール回しリレー、障害物競争、○×クイズ、綱引き、玉入れ、ソフトバレーと前年より競技数を増やし全員が参加できるように配慮しました。特に印象的であったのは、ソフトバレーでした。競技が始まるといつもは顔を会わせることぐらいしか接点のない学生や先生方が目の色を

変えてボールを追いかけ、得点が入るとチーム全員でハイタッチをして喜ぶ和気あいあいとした一面を垣間見ることができました。これは、競技を通してスポーツ大会の目的が達成されたといっても過言ではないと思います。今回、実行委員長という立場で運営に携わり、実行委員会のメンバーと協働することでこのスポーツ大会が行えたということから、あらためて「自分一人で行ったもの」でない認識し、人との繋がりの大切さを実感することができました。

この経験を自分のこれからの看護に活かしていきたいと思いました。
(看護学科2年 大塚裕司)



歩 ~あゆみ~

TOPICS

看護学科 ~Nursing~ 在宅生活支援実習 南陽寺

看護学科2年生は、10月20日(木)加茂郡八百津町の南陽寺を訪問し、患者様やその家族が病やそれぞれの体験・思いを語り合う交流の場に参加させていただき貴重な体験談を伺いました。

実際のお話から、命の尊さや生きていることの大切さを学ばせていただきました。いままで当たり前に出ていた事が、出来なくなっていく。本人自身が病気と向き合っている中で家族も受け入れていかなければならないという事は辛く苦しいと思いました。大切な人の死は決して忘れることはできません。時間が経つにつれて受容していくことでさえ難しいことだと感じます。私は、身近な人の死に関わった体験がまだありません。けれどこの実習を通して死に関わる事の重さや辛さを感じ取る事ができました。

南陽寺という場所を通してたくさんの事を感じられたし、患者様・家族の思いも知る事ができ、本当に大切な時間を過ごす事ができました。実習や現場に出てからも、この体験を忘れず、患者様や家族の思いを理解していけるような看護をしていきたいと思います。(看護学科2年 川口早紀子)



介護福祉学科 ~Welfare~ 第三段階実習

介護福祉学科2年生は、2年間の学びの集大成となる4週間の施設実習を行いました。

私は実習を学んだ知識と技術を実践する事で身につけていく場だと考えていました。利用者様が安心して生活を送れる援助の為にそれも大切な事でしたが、それと同時に様々な利用者様と直接関わりを持つことでコミュニケーションの楽しさと大切さ、そして難しさを実感する機会でもありました。

施設で暮らす方々と話した経験が無く緊張や戸惑いがありましたが、会話や援助をしていく中で自然と関われるようになりました。利用者様の笑顔を見ることにやりがいや喜びを感じられるようになり、これからもより深く介護について学んでいきたいという気持ちを持つことができました。

(介護福祉学科2年 今井紳平)



ケニアの地で『1日3食プロジェクト』進行中!



看護学科卒業生(第8期生)で平成22年6月から青年海外協力隊HIV対策員としてケニアで活動している加藤由美さんからの支援の求めにより立ち上げた、HIVや貧困に苦しむケニアの子ども達を支援するための、「1日3食の食事を! 学校から地域へ広げる貧困家庭生徒の栄養改善プロジェクト」。皆様のご協力により目標金額を上回る募金が集まり、ケニアオカンジャ小学校では着々と進行中です。

『プロジェクトを通して彼らに工夫をする事を伝えたい、考え次第で、幾通りもの方法・可能性がある事を気づいて欲しい。生徒たちの、生徒たちによる、生徒たちの為のプロジェクトになりますように』という加藤さんの願い、試行錯誤の活動を♥愛♥と笑い(^o^)あふれるブログを通して見守っていきます。

進捗状況は



こちら

●加藤由美さんケニア活動ブログ●
<http://yumio399.blogspot.com/>

●1日3食プロジェクトHP●
<http://www.ajisai.ac.jp/1day3foods/index.html>

ギョーカイなう！ ACLS

クリティカルケアのゼミナールにおいて木沢記念病院救急部門長 山田実貴人先生によるACLSの実技演習を行いました。山田先生は、東日本大震災発生直後にDMAT(災害派遣医療チーム)として被災地に入り救命活動を行うなど救急の第一線で活躍されており、豊富な知識と経験による講義は、災害看護への意識の高まりと、これまでの学びをより深めることとなりました。



ACLSとは
 Advanced Cardiovascular Life Support(二次救命処置)の略称。
 気管挿管、薬剤投与といった高度な心肺蘇生法を医療従事者に教育する方法。ダミー、不整脈のシミュレーターを用いて、心肺蘇生の臨床現場を再現し心肺蘇生法の訓練を受ける。

エコキャップ活動

エコキャップ活動を始めて約2年が経ちました。私がエコキャップ活動を知ったのは地元でのエコキャップ活動でした。

世界にはポリオワクチンが接種できず亡くなっていく子どもたちがたくさんいるという現実、そしてペットボルの蓋を800個集めて送ると1人分のポリオワクチンになることを知りました。かけがえのない子どもたちの命を、1人でも多く救いたいという思いと、この活動なら学生でも出来ると思い、活動を始めました。捨てる時に分けて入れてくれたり、家から持ってきてくれたりと多くの学生が協力してくれました。

現在ワクチン48人分のキャップが集まり、

目標のワクチン50人分達成まであと少しです。今後もこの活動を続けていってほしいと思います。

(看護学科3年 土屋和代)



震災ボランティア

募金するだけでは何か物足りないと感じ、夏季休暇中に震災復興ボランティア活動に2度参加しました。実際に現地へ行ってみると、テレビで見た光景も、現実を目の当たりにすると唖然とするしかありませんでした。活動内容は家屋周辺の清掃と畑に流入した泥と草取り、ガレキの除去でした。役割を分担し参加者一人ひとりが協力して作業を行うことで一体感が生まれ、「何か自分に出来ることをしたい」という共通の思いがあれば連携することができると感じました。活動が終わった後に、現地の方から「きれいにしていただきありがとうございます。ここで生きていく気が湧いてきました」と言ってくれ、お手伝いできて良かったと思えました。「現地の方に元気を分けたり、力になりたい」と思って参加した私ですが、逆に元気を分けていただく結果となりました。

テレビで見たことが全てではなく、実際に現地に行って活動することで見えてくる事もあると思います。そして思うだけではなく、実行に移すことが大切であると考えさせられました。

(介護福祉学科2年 佐藤広大)



教職員によるリレーコラム 第6回 こころ@あじさい



看護学科 松井智子

「紅葉は遠き山を眺めるもの」としてきた私が、「山の中で紅葉を見てみたい」と思ったのは、初秋の頃のほんの思いつきでした。糸賀学科長を部長とするあじさい山ガール部の教職員の皆さんの手ほどきもあり、まずは服装から、と山ガールファッションの準備を万全とし、肝心な体づくり

に不安を残しつつ、10月下旬にあじさい山ガール部の乗鞍五色ヶ原登山に参加してきました。景色を楽しむというよりは足元の落ち葉をみるしか余裕はなく、疲れから写る写真はすべて能面のような表情でしたが、山の深さによる紅葉の移り変わりの様子が感じられたり、秋ならではの美味しい木の味の試食をさせてもらったり、とても楽しい登山になりました。全くの登山初心者でしたが、まさに五色のごとく景色の美しさ、登頂の達成感、充実感を十分に味わうことができました。忙しさを理由に新しいことに挑戦することが少なくなってきた昨今、新たに挑むことの大切さを感じた、そんな山ガールデビューでした。

あの実は食べられるから... (´u´)



看護・介護に役立つ ★頭の体操★

英語

問. 次の日本語を英語表現しなさい。

- ①環境 ②車椅子 ③日常生活動作

国語

問. 下線の語句を、漢字はひらがなに、ひらがなは漢字に直しなさい。

- ①傾聴力を養う
 ②命をはぐむ
 ③目標に向かってまいしんする

答えは最後のページ、一番下にあります。

在校生からのメッセージ

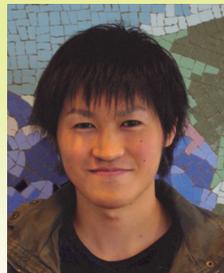


看護学科3年 中田 陽
出身高校／岐阜県立益田清風高等学校

患者様やスタッフの皆様、先生方、そしてクラスの仲間のおかげで約1年間に及ぶ実習を無事終える事が出来ました。辛くて辛くて毎日必死でしたが、思い出すことは楽しい事や、やりがいを感じられる事ばかりで、本当にあつという間

でした。本格的に国家試験に向けて勉強が始まり、1・2年生の時は、講義や本を読んでも、もやっとしか看護について理解できず、難しいもの、という印象しかありませんでしたが、今改めて看護の覚え書や講義内容を振り返ると、そういうことかと、共感・理解出来るようになり、看護への印象が変わり今は勉強を通し知らないことを知っていく事や、知識が増えていくことが本当に楽しく感じます。

実習中、「勉強不足で力になれず関わることが申し訳ない」と自信を持って患者様に関わる事が出来ないこともありましたが、いよいよ看護師として患者様に関わる時が近づいていると考え、いち早く未熟な自分を少しでも高めていきたいと思えます。自分のために関わってくださった方々に感謝し、あと48日間全力を尽くしたいです。



介護福祉学科2年 桂川 貢
出身高校／岐阜県立益田清風高等学校

私は社会人を経験しており久々の学校での勉強についていけるか不安でした。しかし、クラスの仲間と先生方の温かい雰囲気の中で講義や技術演習に取り組むことができ、わかりやすく学ぶことができました。わからないことは学生同士で教え合ったり先生方が丁寧に説明していただけました。現場実習では初めての施設の雰囲気に戸惑いもありましたが、利用者様との関わりの中でコミュニケーションの取り方や介護技術を学ぶことができました。

私は利用者様の笑顔や「ありがとう」の言葉により、この仕事のやりがいや楽しさを実感することができました。多くの利用者様と関わりながら自分自身成長できたと感じています。



入学試験のご案内

看護学科

入試区分	願書受付期間	試験日
一般②	1月16日～2月13日	2月18日(土)
一般③	2月20日～3月5日	3月10日(土)
社会人②	1月16日～2月6日	2月12日(日)
社会人③	2月20日～3月5日	3月10日(土)

介護福祉学科

入試区分	願書受付期間	試験日
一般③	12月12日～1月20日	1月29日(日)
一般④	1月23日～2月17日	2月26日(日)
一般⑤	2月20日～3月9日	3月17日(土)

新しい年を迎え、また一步、あじさいの、学生の、教職員の「歩-あゆみ-」を進めます。



HPも是非ご覧ください



学校見学随時受付中 (要予約)



学校法人あじさい学園 あじさい看護福祉専門学校

〒505-0022 岐阜県美濃加茂市川合町4-6-8

TEL: (0574)28-2131 FAX: (0574)28-2130

<http://www.ajisai.ac.jp>

e-mail: info@ajisai.ac.jp

携帯サイトはこちら

